

DioVISTA/Storm



雨雲を地図と重ねて3次元表示

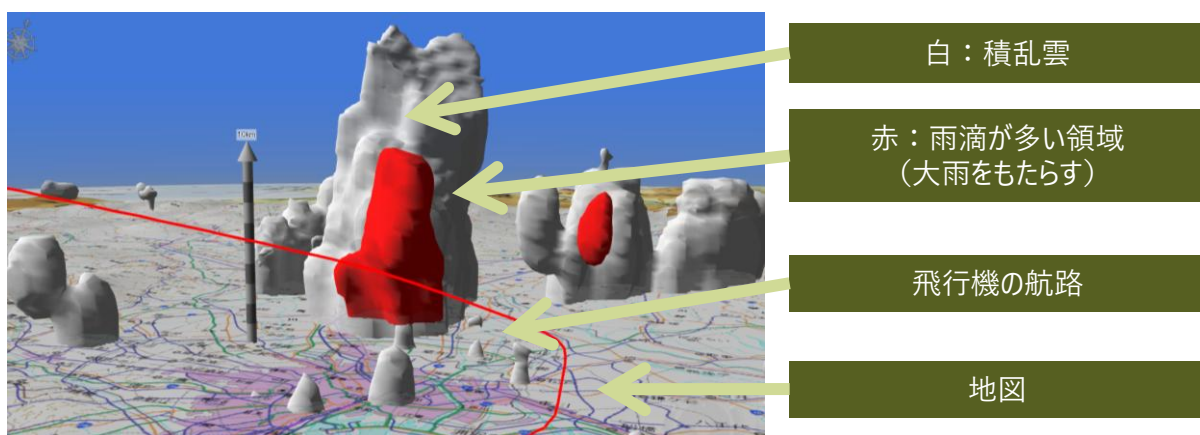
降雨レーダーや気象シミュレーションデータを地図と重ねて3次元表示する地理情報システムです。運用業務に適したカスタマイズが可能です。

特長

1. 地図がすぐ使える：起動直後から地図が3次元表示されます。
2. 簡単操作：データファイルのドラッグ＆ドロップで可視化されます。
3. 自動化にも対応：観測結果から動画を自動で生成できます。
4. 業界標準フォーマットNetCDF *対応：さまざまなデータを可視化できます。

*NetCDF: Network Common Data Form

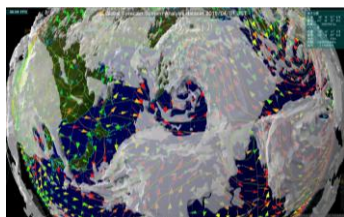
適用例



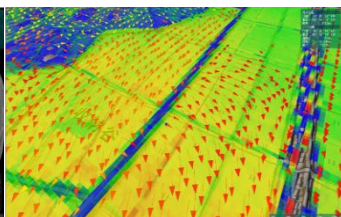
- ▲ 埼玉県越谷市などに被害をもたらした竜巻の親雲
2013年9月2日、高さ10kmを超える巨大な積乱雲から竜巻が発生

※この適用例画像は、気象庁レーダーデータ（エコー強度）をCAPPI (Constant Altitude Plan Position Indicator) に変換して作成しています。

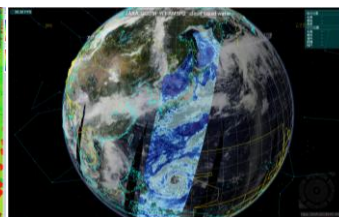
適用例



全球スケールの気象データ
(データ: NOAA NCEP GFS)



浸水想定区域図
(データ: DioVISTA/Floodによる鬼怒川破堤
シミュレーション)



衛星観測データ
(データ: JAXA GCOM-W1, NASA MODIS)



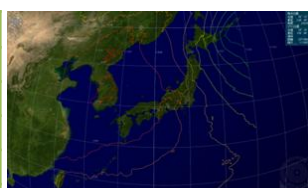
津波シミュレーションデータ
(データ: 内閣府 南海トラフ巨大地震モデル)

主な機能

機能

複数NetCDF表示(複数画面)
等値面表示
コンター表示
ベクトル表示
3次元格子表示
2次元格子表示
画面分割
鉛直スケール表示
属性値の参照
時系列表示制御
連続静止画出力
動画作成
レーダー観測範囲表示
選択範囲だけ表示
静止画作成の自動化*
動画作成の自動化*
レーダー毎極座標レーダーエコー強度 GPVデータのNetCDF変換
LFMデータのNetCDF自動変換*
国土地理院の地図配信サービス
全国5mメッシュ地形データ*

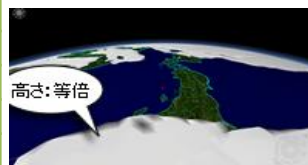
「*」がついた機能は、Professional Edition
では標準搭載、Standard Editionではオプ
ション対応となります。



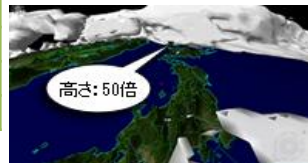
コンター表示例 (データ: 気象庁)



3次元格子表示例 (データ: 気象庁)



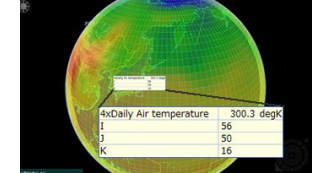
高さ: 等倍



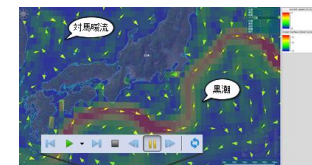
高さ: 50倍
高さ等倍 (上)、高さ50倍 (下) に
強調した例 (データ: NCEP GFS)



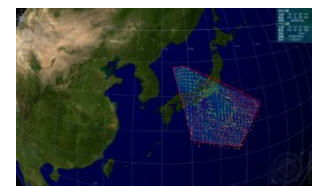
鉛直スケール表示例 (データ: 気象庁)



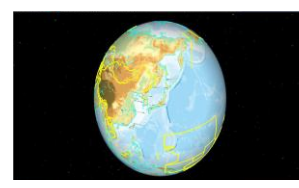
属性表示例
(データ: NCEP NCAR Reanalysis)



アニメーション制御例 (データ: OSCAR)



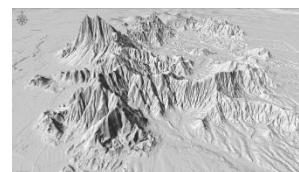
表示範囲選択例 (データ: 気象庁)



地理院地図の3D表示例



ラスター地図(地形図)とベクタ地図
(道路地図)を重ねて表示した例



基盤地図情報10mメッシュ (標高)
および5mメッシュ (標高) の地形データ

カスタマイズとして、観測システムのフロントエンド、解析システムのプリポスト、業務システムの開発のほか、動画作成、各種データ
からNetCDFフォーマットへのデータ変換なども承ります。



注意

ご使用前に「取扱説明書」を
よくお読みのうえ、正しくお使いください。

株式会社 日立パワーソリューションズ

<https://www.hitachi-power-solutions.com>

デジタルエンジニアリング本部 システムインテグレーション部
〒101-0046 東京都千代田区神田多町2-2 神田第一生命ビル3F
TEL. (03) 5297-0511

フロント営業統括部 東日本営業部
〒101-8608 東京都千代田区外神田一丁目18番13号 秋葉原ダイビル25F
TEL. (03) 6285-2970



▲
最寄りの営業拠点はこ
ちら

● 製品仕様は改良のため変更することがあります。

● お問い合わせは、以下にご連絡ください。